

プロボートレーサーの 片岡雅裕さんが町に寄附

昨年12月27日(水)、小黒ノ川地区出身で、現在香川県丸亀市で活動しているプロボートレーサー・片岡雅裕まさひろさんが松本敏郎町長を訪問しました。

片岡さんは昨年11月21日(火)から26日(日)の6日間で行われた「S G第26回チャレンジカップ」で優勝。それに伴い、町へ100万円を寄附していただきました。

懇談の後、目録が片岡さんより松本町長へと渡され、寄附に伴う感謝状およびお礼の品が松本町長より片岡さんへ贈呈されました。なお、片岡さんには令和4年にも寄附をいただいております、今回は2回目の寄附となります。



片岡さん(左)と松本町長(右)

片岡さんは、「今回の寄付金も、子どもたちのために教育の分野で活用してほしい。今年は思ったより活躍できた1年だった。来年は調子に乗らないように頑張る」と話しました。

土佐ユートピアカントリー クラブが町に寄附

昨年12月27日(水)、土佐ユートピアカントリークラブの田中里実さとみ副支配人が松本敏郎町長を訪問し、町に寄附金を贈呈しました。

同寄附金は、昨年開催された「中西支配人就任コンペ」および「古希コンペ」の2つのコンペで、有志で募ったチャリティーにより集まった協力を寄附していただいたもの。昨年、町で合宿を行った女子プロゴルファーなども協力してくださったとのこと。

田中副支配人は、「町が助成金を出してくださったり、合宿を誘致してくれているおかげでやっていけている。寄附を通して町へ恩返しができると思っただけです。」と話しました。



田中副支配人(左)と松本町長(右)

返しができればと、思っただけです。青少年の育成など、町のために使ってもらいたい」と話しました。

佐賀地区出身の松本幸子さんが町に寄附

昨年12月9日(土)、佐賀地区出身で、現在兵庫県神戸市にお住まいの松本幸子さちこさんから、町へ寄附金が贈呈されました。

当日は、代理人として松本さんの弟である井上宏ひろしさんが佐賀支所を訪れ、松本敏郎町長に本人からの手紙を渡し、寄附のご意向を伝えるとともに、町へ100万円を寄附していただきました。

松本さんは、過去には旧佐賀町の青年団で活動された経験もあるとのこと。また、松本さんの親である井上佳子としこさんが生前中、町にいろいろとお世話になったため、そのお礼と感謝の思いから、故郷の町の発展に寄与できればと、寄附金を贈呈することにしたとのことでした。



井上さん(左)と松本町長(右)

IWKTVが国連「SDGs メディア・コンパクト」加盟

昨年12月27日(木)、黒潮町ケーブルテレビ(IWKTV)が松本敏郎町長を訪問し、国連が設立した「SDGsメディア・コンパクト」に加盟したことを報告しました。

同取組は、国連がSDGsをメディアの情報発信力を活かし、目標達成を促すことを目的に平成30年に設立されたもの。

町民一人ひとりにできることや、町のSDGsの取組を知ってもらう1つのツールとして、番組を作っていくとのこと。

NPO砂浜美術館の村上健太郎けんたろう理事長は、「番組を通じて町の皆さんに、普段行っていることがSDGsにつながっているということをお伝えし、身近に感じてもらうツールにしてほしい」と話しました。



松下卓也さん(左)と松本町長(中央)と村上理事長(右)